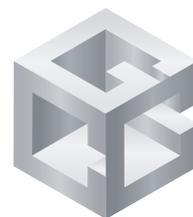


社員を育てる企業表彰

グッドキャリア企業 アワード2020

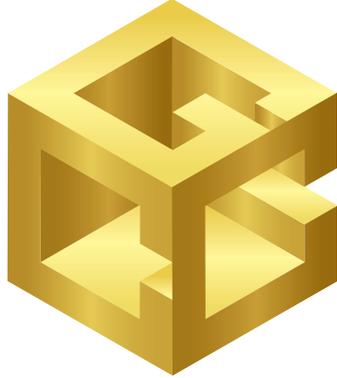
社員の自律的なキャリア形成を
支援する企業の先進事例

好事例集



グッドキャリア企

Good Career Com

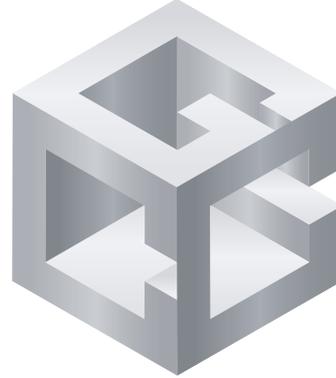


「グッドキャリア企業アワード」

大賞

[厚生労働大臣表彰]

従業員の自律的なキャリア形成支援について特に他の模範となる取組を総合的かつ継続的に推進し、その成果が顕著である企業等(5社程度)を表彰します。



「グッドキャリア企業アワード」

イノベーション賞

[厚生労働省人材開発統括官表彰]

自社における重要課題に取り組むため、労働者の自律的なキャリア形成支援について、対象者、取組手法等を重点化してキャリア形成支援を展開し、人材育成、ひいては企業経営上の具体の成果に結びつけるなど、特に他の模範となる取組を推進し、その成果が認められる企業等(最大10社程度)を表彰します。

「グッドキャリア企業

エントリーシートに各企業のキャリア支援の取組について

評価項目

1 キャリア支援の特徴、理念

- 自社におけるキャリア形成支援の特徴、強みや良さを理解しているか
- 人事管理(人材マネジメント)上の課題や人材育成ビジョン、経営における目指す姿と有機的な関連があるか

評価のポイント

2 キャリア支援の取組

- ① キャリア形成について考える機会
- ② 職業能力開発・自己啓発の機会
- ③ 職業能力評価の仕組み
- ④ 上記以外の観点も含めた取組全般

- 他の企業のモデルとなる優れた取組を行っているか
- 職場に効果的に定着しているか、積極的に活用されているか

業アワード2020

pany Award 2020

「グッドキャリア企業アワード」の趣旨・背景について

産業構造の変化、グローバル化等が進展する中で、我が国の経済が競争力を高め、引き続き成長を遂げていくためには、変化する経済社会に自律的に対応できる人材を育成していくことが必要です。また、労働力人口の減少、少子高齢化が進む中で、誰もが意欲と能力に応じて働くことのできる社会を実現していくためには、働く人一人ひとりの能力を高め、生産性を高めていくことが不可欠です。

そのためには、キャリア実現の場である各企業において、事業主自身が経営上の課題に即して、従業員の自律的なキャリア形成・能力開発を促進する仕組みを設け、多様なキャリアパスを設定の上、実行性ある支援を計画的に実施することが重要です。

厚生労働省は、こうした観点から、従業員の自律的なキャリア形成支援について他の模範となる取組を行っている企業等を表彰し、その理念や取組内容、具体的効果等を広く発信、普及することにより、キャリア形成支援の重要性を社会に広め、定着を期すことを目的に、グッドキャリア企業アワードを実施しています。

「グッドキャリア」とは

「グッドキャリア企業アワード」における「グッドキャリア」とは、

- ・各企業における経営上の課題等に対応し、また、変化する経済社会の方向性を踏まえて、
- ・従業員が自らのキャリアビジョンを明らかにし、その実現を図るため、
- ・自律的・継続的に自らのキャリア形成に取り組んでいる状態をいいます。

具体的な「グッドキャリア」の在り方については、各企業の経営理念などに応じ、企業ごとに多様に設定されうものですが、企業が、「当社におけるグッドキャリアとは」という理念や具体的の方針を明確化し、かつ、従業員がそれを理解の上でグッドキャリアを実現するために自律的にキャリア形成の取組を行い、企業もこれを支援する、といった好循環が生まれることが重要です。

この実現に向けて、従業員が自らのキャリアビジョンについて考える機会の設定や、人事・教育訓練制度の充実などの取組を積極的に推進している企業を「グッドキャリア企業」と呼んでいます。

「グッドキャリア企業アワード」は、グッドキャリア企業と認められる企業の中でも、特に他の模範となる先駆的取組を行っている企業を表彰するものです。

アワード」評価の視点

記載いただき、下記の評価項目により、評価を行いました。

3 キャリア支援による効果等

- 具体的な効果がみられているか
- 経営上または人事管理(人材マネジメント)上の課題の解決につながっているか
- 従業員からの評価を聞く機会があり、その結果を受けて修正する仕組みがあるか
- 離職率や残業時間の数値が著しく高くないか

4 総括

- 総合的にみて、当該企業の理念や取組内容を広く周知することにより企業等の取組が促進されると考えられるか

審査総評

キャリア開発支援は企業の競争力を高める

今年度は、コロナ禍のまっただ中だったため、応募企業が少なくなるのではないかと心配したが、大企業部門22社、中小企業部門25社の応募があり、昨年と比較しても遜色ない応募企業数であった。これは、キャリア形成支援に関する企業の関心が高いことを示している。

一般に、大企業の担当者は、応募書類の執筆に慣れており、取組の実態を的確に表現している。他方、中小企業においては、専任の担当者がいない場合が多いので、記述に不十分なところが散見される。それゆえ、実地調査が大きな意味を持つてくる。今回の応募企業の中にも、書類を見る限りでは高く評価できるように見えなかったが、実際にその企業を訪れて話を伺うと、素晴らしい取組をしておられることが判明した例があった。

キャリア開発支援は、従業員のためだけでなく、企業の競争力向上にも寄与している。今回のような、誰も経験したことのないような状況下で企業の生き残りに貢献してくれるのは、ふだんからさまざまなことを考えている従業員である。キャリアを考えると、自分が担当している仕事を見直すことであり、これからどのような分野で自分の力を伸ばしていくかを考えることである。今回の表彰企業は、それぞれに工夫をこらし、従業員に考えて行動する場を用意しておられた。他の企業の参考になれば幸いである。

審査委員長 藤村 博之

審査委員



審査委員長

法政大学経営大学院
イノベーション・マネジメント研究科
教授

藤村 博之



THK 株式会社 社外取締役
株式会社小松製作所 顧問
株式会社すき家 社外取締役
株式会社瑞光 社外取締役
立命館大学大学院経営管理研究科
客員教授

日置 政克



住友商事株式会社
社外取締役

井手 明子



専修大学大学院経営学研究科
研究科長 教授

廣石 忠司



法政大学
キャリアデザイン学部
教授

坂爪 洋美



厚生労働大臣官房審議官

富田 望

CONTENTS



「グッドキャリア企業アワード2020」

大賞

[厚生労働大臣表彰]

株式会社JTB	05
東京都品川区／生活関連サービス業・娯楽業	
TIS株式会社	09
東京都新宿区／情報通信業	
万協製薬株式会社	13
三重県多気郡／製造業	
SWSスマイル株式会社	17
三重県津市／管理、補助的経済活動を行う事業所	



「グッドキャリア企業アワード2020」

イノベーション賞

[厚生労働省人材開発統括官表彰]

株式会社三井住友銀行	21
東京都千代田区／金融業・保険業	
ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	23
東京都中野区／製造業	
エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社	25
神奈川県川崎市／情報通信業	
株式会社はたらクリエイト	27
長野県上田市・佐久市／情報通信業	
医療法人社団恵正会	29
広島県広島市／医療・福祉	

※「社員の声」に掲載の従業員氏名については、各社の要望に応じた表記とさせていただきます。